

茂木敏充衆議院議員との対談 第1回

全4回

衆議院議員 茂木敏充 氏
開倫塾塾長 林明夫



収録中の衆議院議員・茂木敏充氏

(左)開倫塾塾長・林明夫 (右)衆議院議員・茂木敏充

林： おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も開倫塾の時間をお聴き頂きましてありがとうございます。今朝は特別ゲストとして、衆議院議員の茂木敏充先生にスタジオに来て頂いております。宜しくお願いします。

茂木： 宜しくお願いします。お早うございます。

林： お早うございます。この番組は21年目の放送ですけれども、茂木先生にはですね、衆議院議員になられる16年前の少し前から毎年1回ずつ・・・4回ですね、毎年毎年この番組に出演なさって頂いております。先生、どうも有難うございます。

茂木： 21年ですか。本当に長いですね。やっぱり、勉強もそうですけれど「継続は力なり」ということですか。

林： 宜しくお願いします。

茂木： はい。

林： 今日から4回シリーズで今、ご紹介させて頂きました衆議院議員であられ、また衆議院の厚生労働委員長にご就任なさいました、茂木敏充先生にですね、今の国政の状況とか、年金問題、社会保障政策についてお話をお伺いしたいと思います。先生、宜しくお願いします。

茂木： 宜しくお願いします。

林： 最初にですね、厚生労働委員会、とか厚生労働委員長について先生がお知りになりましたお話をお伺いしたいのですが。最近よくテレビで茂木先生のことをお見かけするのですが。だいぶお

忙しそうですね。

茂木： 昨年の秋から厚生労働委員長に就任しまして、恐らく林さん・・・テレビで見て頂いているシーンというのはですね、衆議院の厚生労働委員会で私が議事運営しているシーン、そういうシーンが多いんだと思うんですけども。何しろ今、厚生労働委員会・・・年金の記録問題もあります。それから C 型肝炎の対策。直近では、中国製の冷凍餃子・・・これに殺虫剤が混入して中毒事件。全国的に広がっている・・・。

こういう風にですね、マスコミや国民の皆さんにとって非常に関心の高いテーマ、それを取り扱っていますので、その分テレビに映るシーンも多いのだと思います。

林： 守備範囲もとても広い様な感じですね。

茂木： そうですね。

林： 昨年からですね、茂木敏充先生は、衆議院の厚生労働委員長に・・・今お話みにになったようにご就任なさったわけですけども、時々国会中継などをみていますけど、確かに社会の教科書では習ったような気がします。国会の実際の仕組みというのは

どんな風になっていますか。これを教えて頂きたいのですが。

茂木： 国会というのは、国権の最高機関として、国民生活それから国際問題に関わる 様々な条約とか法案を審議する機関です。ここまで社会科で習ったことです。それで議論する場としては、主に2つありまして、1つが衆議院。まあ参議院ともに全部の国会議員が参加する本会議と、分野別の委員会というのがあります。日本の場合、本会議というのは、どちらかという形式論的というか・・・それに対して実質的な審議、これは委員会で行われまして、委員会中心主義、こんなことを言われています。

林： 日本の国会は委員会中心な主義なわけですね。

茂木： はい。

林： 大変勉強になります。そこで、茂木敏充先生が委員長をお務めになります、厚生労働委員会も、その委員会の1つだと思いますが、厚生労働委員会の位置づけとか、具体的な役割はどうですか。

茂木： 国会の場合、委員会といいましても、大きく2つに分かれていまして、1つが常に国会に設置されています常任委員会と、各国会ごとに設置するかしないか、そういうことが決まります、特別委員会というのがあります。衆議院には、常任委員会が17ありまして、私が委員長を務めます、厚生労働委員会もそのうちの1つです。厚生労働委員会の委員の数で言いますと、45人、ということですから、予算委員会に次ぐ大きな委員会・・・それだけ大切な役割、ということになります。一方、特別委員会ですが災害対策の特別委員会ですとか様々あるのですが、例えばインド洋での例の給油問題。これを扱ったテロ対策特別委員会。これも特別委員会の1つで、現在衆議院では6つの特別委員会、これが設置をされています。

林： そうですね。予算委員会に次ぐ、大きな委員会の厚生労働委員会の委員長をお務めだと思うのですが、厚生労働委員会は省庁で言えば、厚生労働省に対して、年金や医療問題そのた様々な

問題を取り扱うということでしょうか。

茂木： はい。あの・・・省庁で言えばおっしゃる通り厚生労働省を所管するわけです。扱うテーマとしては、今林さんがおっしゃったように年金、医療の問題もありますけれども、介護であったりとか福祉、そういった社会保障制度全般、また公衆衛生、人口問題、そして労働問題、雇用対策など。本当に多岐にわたっている感じです。そして公衆衛生とか食品行政の中にはですね、例の中国製冷凍餃子の問題も入ってきますし、若者のニートとかフリーター対策、これも労働・雇用問題としてとして扱うことになっています。

林： 労働雇用問題としてニート・フリーターも扱って下さっているのですね。

茂木： そうですね。

林： 舛添厚生労働大臣と茂木敏充先生の2ショットもテレビでよく見かけますが。

茂木： 当然ですね、会う機会が多いのですが、厚生労働分野で言いますと、行政側の責任者が舛添厚生労働大臣、そして国会の方の責任者が委員長である私ということになりますので、その分舛添さんとは一緒にいる機会というのが最近多いわけです。

厚生労働委員会・・・常時舛添さんが答弁側の代表として出席をしてますし、与野党ともにですね、この分野には論客が揃ってますからその分マスコミの注目も大きいわけで、いつも緊張感を持って委員長職に臨まなければ、と思っています。

林： このように、茂木敏充先生はですね、非常にご活躍ですけれども、先生、色んな広い分野で厚生労働委員長をなさっていると思うのですが、これからのテーマはどんなものがありますか。

茂木： 当面のテーマとしてまず1つは、年金の問題。今、相当進めていますので。それからC型肝炎についても一律の救済 これについては新しい法律を作りましたが、まだ全体の対策の問題も残っています。そして先ほどから申し上げておりますように、冷凍餃子に関わるこの原因の究明であったり、再発の防止、こういった問題が大きなテーマだと思っています。

林： 有難うございます。本日は4回シリーズで、茂木敏充衆議院議員、衆議院の厚生労働委員会の委員長をお招きして、国政の状況、年金問題、社会保障政策についてお話を伺いました。先生、またあと3回引き続き宜しくご指導お願い致します。

茂木： 宜しくお願いします。

林： 有難うございました。